

3 職場体験学習 実施に関するQ & A

新潟市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会

キャリア・スタート・ウィーク事業実践校と実行委員会事務局が、中学生の職場体験学習の実施に関して、今年度の取組をとおして得た各種情報をQ & A形式にまとめました。

Q1	職場体験学習にはどのような教育効果が期待できるでしょうか。
A1	職場体験学習には、次のような教育効果が期待されます。 <ul style="list-style-type: none">・学校生活と職業生活の関係を理解することによる学習意欲の喚起・職業人との出会いや会話を通じた自己理解の促進・職業人との出会いや仕事遂行を通じた職業観の育成と進路意識の高揚・人間関係の大切さの理解やコミュニケーション能力の向上・地域（の産業）の魅力や地域社会との関わりの意識
Q2	職場体験学習のねらいはどのように示したら良いでしょうか。
A2	職場体験学習では、生徒が社会で働く体験を積むことによって、学校での学習や学校生活を送る先に、将来の職業生活を意識することが重要です。 そこで、次のようなねらいを示すことができます。 <ul style="list-style-type: none">・働くことの喜びと厳しさを学ばせ、「社会で生きる力」を身に付けさせる。・自分の興味・関心を意識させ、自分に備わっている技能や適性等に気付かせる。・職場のマナーやルールとして規律、言葉遣いの大切さを知り、自分の進路について考えさせる。
Q3	職場体験学習の事前学習として、どんなプログラムを組んだら良いでしょうか。
A3	キャリア教育の一環として実施される職場体験学習は、職業的（進路）発達に関わる諸能力に示された4つの能力（人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力）の育成を目指して行われるものです。 これらの能力は、事前学習の成果として、充実した体験を積むことによって身に付けられるものです。 平成17年度のキャリア・スタート・ウィーク実施校の多くでは、体験の前に、次のような学習活動が行われています。 (1)ガイダンスとして <ul style="list-style-type: none">・自己の適性を知る各種検査・短期の職場体験・職場見学・社会人講師による職業講話 (2)体験活動に直接関わるものとして <ul style="list-style-type: none">・体験先の情報を収集する調査活動・自分の課題の設定・事業所等への依頼の仕方の実習・社会人講師によるマナー講習・事前訪問・打ち合わせ・緊急時の模擬行動 (3)社会の仕組み・会社経営の理解のために <ul style="list-style-type: none">・起業家教育のプログラム（トレーディングゲーム）実施

Q 4	<p>職業に対する興味や適性を生徒自身に理解させる方法にはどのようなものがありますか。</p>
A 4	<p>自分と職業の結びつきを考える手がかりとして、各種の検査を用いることができます。</p> <p>中学校段階では、職業レディネステストと一般職業適性検査が活用されることが多いようです。それぞれの検査の特徴は次のようにまとめられます。</p> <p>(1)職業レディネス検査（動労政策研究・研修機構編著） 職業に対する興味や関心度・自信度などについて考えるための検査で、結果は、6職業領域（現実的、研究的、慣習的、社会的、企業的、芸術的）における興味や自信度で表現される。実施時間（45分程度）</p> <p>(2)一般職業適性検査（厚生労働省編著） 「各人の能力の特徴と関連のある職業は何か」という角度から各人と職業との結びつきを考えるため、代表的な9能力（知的、言語、数理、書記的知覚、空間判断力、形態知覚、運動共応、指先の器用さ、手腕の器用さ）を測定する。実施時間（紙筆検査：45分程度、器具検査15分程度）</p>
Q 5	<p>職場体験学習で生徒を受け入れてくれる事業所は、どのようにして探したら良いでしょうか。</p>
A 5	<p>受け入れてくれる事業所探しは、教職員も生徒（保護者）も最も頭を悩まし、エネルギーを必要とするところです。</p> <p>(1)前年度の実績がある学校では、過去の受け入れ事業所にお問い合わせしてみます。</p> <p>(2)学校のある地域の商工会議所、商工会、商店街連合会等をとおして、生徒の受け入れに関する情報提供を受けることも考えられます。</p> <p>(3)キャリア・スタート・ウィーク実行委員会では平成17年度の受け入れ事業所等のリストを整理しました。今後、市教育委員会では個人情報に配慮しつつ、受け入れ事業所等の情報を可能な限り提供していきます。</p> <p>(3)学校から事業所等にお問い合わせする場合には、次のような情報を提供することが大切です。</p> <p>①今年度の実施計画 （実施期日、実施のねらい、受け入れの生徒見込み数）</p> <p>②体験受け入れが決まった際のお願状 結果的に体験の希望生徒がいなかった事業所にはその旨の返事</p> <p>③指導上配慮が必要な生徒がいる場合には、その状況</p> <p>④学校が想定する緊急事態の種類と、緊急時の対応策</p> <p>⑤職場体験終了後のお礼状</p> <p>⑥職場体験学習発表会の案内、学習成果集</p>
Q 6	<p>職場体験学習で生徒を受け入れてくれる事業所側には、何かメリットがあるのでしょうか。</p>
A 6	<p>業務の効率化が進み、どの企業や事業所でも少ない人員で仕事が行われており、生徒を受け入れるために担当者や指導者を充てるのは日常業務にしわ寄せを生む原因にもなります。</p> <p>それでも、職場体験学習を受け入れてくれるのは、企業や事業所等が次のような効果に期待しているからという報告があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の、事業所活動に対する理解につながる。 ・社員に仕事を見直す機会が生まれ、仕事に対する意欲向上につながる。 ・地域の世代間の理解が進み、長期的に見れば、地域社会と受け入れ事業所の活性化につながる。

Q 7	<p>職場体験で生徒を受け入れてくれる事業所側は、どんな要望があるでしょうか。</p>
A 7	<p>日常業務が忙しくなっても、地域社会への貢献や学校との連携を大切に考えて生徒を受け入れる企業や事業所には次のような要望があるとの報告があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なマナーができていない生徒，意欲に乏しい生徒を送らないで欲しい。 ・学校で事前・事後の指導を充実させて欲しい。 ・実施後の報告をしっかりとし，次年度へ引き継いで欲しい。 ・各学校間で，日程・依頼方法等について調整して欲しい。
Q 8	<p>希望する職場での体験ができないのなら，職場体験学習の意味がないと訴える生徒には，どんな指導をすれば良いでしょうか。</p>
A 8	<p>職場体験への期待の裏返しとして，希望する職業の体験ができないことを不満に感じる生徒もいることでしょう。このような訴えがあった時こそ，キャリアカウンセリングのチャンスです。</p> <p>最初の希望がどのような考えや判断によるものなのか，話し合っただけで確かめることです。気の合う友達と同じ事業所へ行きたいなどの理由も少なくありません。</p> <p>職業について調べてきた事前学習を振り返って，体験学習を前にした自分の課題を解決することが最大のねらいなのだとして理解させることです。</p> <p>職場体験学習のスタートに当たって，生徒に一連の学習のねらい（A 2）をしっかりと伝えておくことが大切です。</p>
Q 9	<p>体験中の事故や災害に備えて，どのような対策を立てたら良いでしょうか。</p>
A 9	<p>職場体験学習に際して予想される事故や災害には，次のようなものが考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)体験場所への行き帰りの際の交通事故 (2)体験中の生徒自身がケガを負う事故 (3)生徒の行為に起因する他者への損害（ケガ，損壊，情報の漏洩等） <p>これらの事故や災害の予防のために，</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)事前指導 （生徒の往復の経路と交通手段について保護者の了解を得ておく） (2)事業所へのお願いと打ち合わせ （事故につながる危険性が低い業務の体験を要望，生徒との事前打ち合わせの徹底を依頼） (3)巡回指導の計画 (4)万一の場合に備えて， 独立行政法人日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」の他に，次の保障制度・保険に加入することができます <ol style="list-style-type: none"> ①インターンシップボランティア等体験活動傷害保険 ②インターンシップボランティア等体験活動賠償責任保険 <p>（いずれも「財団法人産業教育振興中央会」ホームページ参照のこと）</p>

Q10	生徒が学習の一環として職場体験に取り組んでいることは、事業所等を訪問する方々やお客さまにどのようにして理解してもらったらよいでしょうか。
A10	<p>事業所等の方々やお客さまには、地元の中学生在が学校の授業として職場体験をしていることをきちんと伝えることで、一層温かい目で実習を見守ってくれることが可能となります。</p> <p>このためには、個々の生徒は体験の時間中に、最低限、学校名と氏名を明記した名札（ネームプレート）等を付けて身分を明らかにする必要があります。</p> <p>さらに、事業所等が許せば、出入り口に、「〇〇中学校の生徒が、学習の一環として職場体験実習中」である旨の表示をするのも一つです。</p>
Q11	保護者にはどのように関わってもらえば良いでしょうか。
A11	<p>職場体験学習は、事業所等の協力で生徒が地域で学ぶ機会です。保護者にもこの学習活動の輪に加わってもらうことによって、保護者・地域社会・学校の連携を実現することができます。</p> <p>生徒が学習意欲を高めたり、生活を見つめる重要な機会にもしたいという職場体験学習のねらいや効果を理解してもらうことも大切です。</p> <p>(1)職場体験学習の実実施計画の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書，学校（学年）だよりの配布 ・説明会の開催 ・保護者をお願いしたいこと ・安全面の備え （欠席等の連絡方法，個々の交通手段，保険の対応等） <p>(2)保護者の出番</p> <p>①当事者として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験職場の開拓・生徒と一緒に体験の受け入れを依頼する ・体験後の生徒の礼状を読み，一筆加える <p>②評価者として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅後の生徒の話しを聞き（褒められた，驚いた，緊張した，新しく発見した）励ましの言葉をかける（できれば一言メッセージを） ・発表会に参加する
Q12	職場体験学習の成果は、どのような振り返りをするによって高まるでしょうか。
A12	<p>現場での職場体験を，個々の生徒の学習につなげるには，体験直後の振り返りと学校へ戻ってからの振り返りが重要です。</p> <p>(1)体験当日の感激や感動がさめないうちに振り返ることが大切です。</p> <p>一人一人が付ける体験日誌に，「今日一番つらかったこと」や「今日一番うれしかったこと」と，「明日への決意」を書き込むようにすると良い</p> <p>(2)学校に戻ったら，</p> <p>①体験期間全体をとおしての感想作文を書く。</p> <p>事業所の担当の方からの評価や保護者の感想を加えて，自分が成長したことを押さえる</p> <p>②報告書の作成</p> <p>事前に設定した自分の課題に対する結論は欠かさずに記入させる</p> <p>③発表会の開催</p>